

実践記録

学校/学年	小学校 / 6 年	
実施日	平成 2 1 年 1 1 月 1 8 日	
教科等：単元名	学活：メールの良さと悪さを考えよう	
キーワード	メールによる悪口	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	
	中目標項目番号 中目標項目内容	
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	メールの良さと悪さを考え、これからの選択に活かす	
使用教材	教材名	NET モラル 児童用
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL 等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	・ メールをどんなときに使用するか考える。	普段の生活でメールを利用しない児童にはメールがどんなものが簡単に説明する。
展 開	・ メールの利便性を理解する ・ メールによる悪口の広まりについて原因を考える。	親子間など連絡先が明らかな場合、メールによる情報伝達の利便性を理解させる。 顔の見えない相手にメールを送る場合、情報の一部だけが伝わり、思いがけないトラブルに発展することを理解させる。
お わ り	・ メールの良さと悪さを考える。	メールによる情報の伝わり方は、使い方によって良さと悪さが有ることに築くことができたか。

○ 授業の成果

- ・ 具体的な事例を通して、体験的に学習を行うことができた。

○ 指導のポイント・留意点

- ・ コンピュータの一斉管理による授業で、考える観点を統一させた。